

2023年3月期

ソフト99コーポレーション

第2四半期 決算説明会

2022年12月6日

- 本資料には、将来に関する見通し、期待、判断、計画あるいは戦略が含まれております。この将来予測に基づく記載や発言は、製品の需要変動、景気動向、天候およびその他のリスクや不確定要素を含みます。
- 本資料に含まれる全ての将来的予測に基づく記載や発言は、資料の作成時点で入手可能な情報に基づいており、私たちは、このような将来予測に基づく記載や発言を更新する義務を負いません。
- またこの記載や発言は、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が私たちの現在の期待とは実体的に異なる場合があります。このような違いには、多数の要素が原因となりえます。

I : 企業グループの概要	P. 3
II : 連結業績概要	P. 6
III : 事業の概況	P. 9
IV : 中期経営計画に基づいた当社の取り組み	P. 18
V : 通期業績予想と配当予想	P. 24
Appendix: 計数資料	

I : 企業グループの概要

株式会社 ソフト99コーポレーション

創 立 … 1954年10月28日

主要事業 … 自動車用・家庭用ケミカル用品の製造販売
機能性精密多孔質体製品の製造販売

従業員数 … 854名(2022年9月30日現在・連結)

関係会社 … 10社(当社含む連結対象企業)

当社主要製品の歴史

1969年
「ハンネリ」



1978年
「ボデーペン」



1987年
「タイネット」



1993年
「ぬりぬりガラコ」



1999年
「プラスセーヌ」



1999年
「フクピカwet」



2003年
「G'zoxシリーズ」



2006年
「メガネのシャンプー」



※ プラスセーヌ(旧 プラスセーム)は鐘紡株式会社より1963年に発売、事業譲渡にて1999年より当社グループによる製造販売を開始。

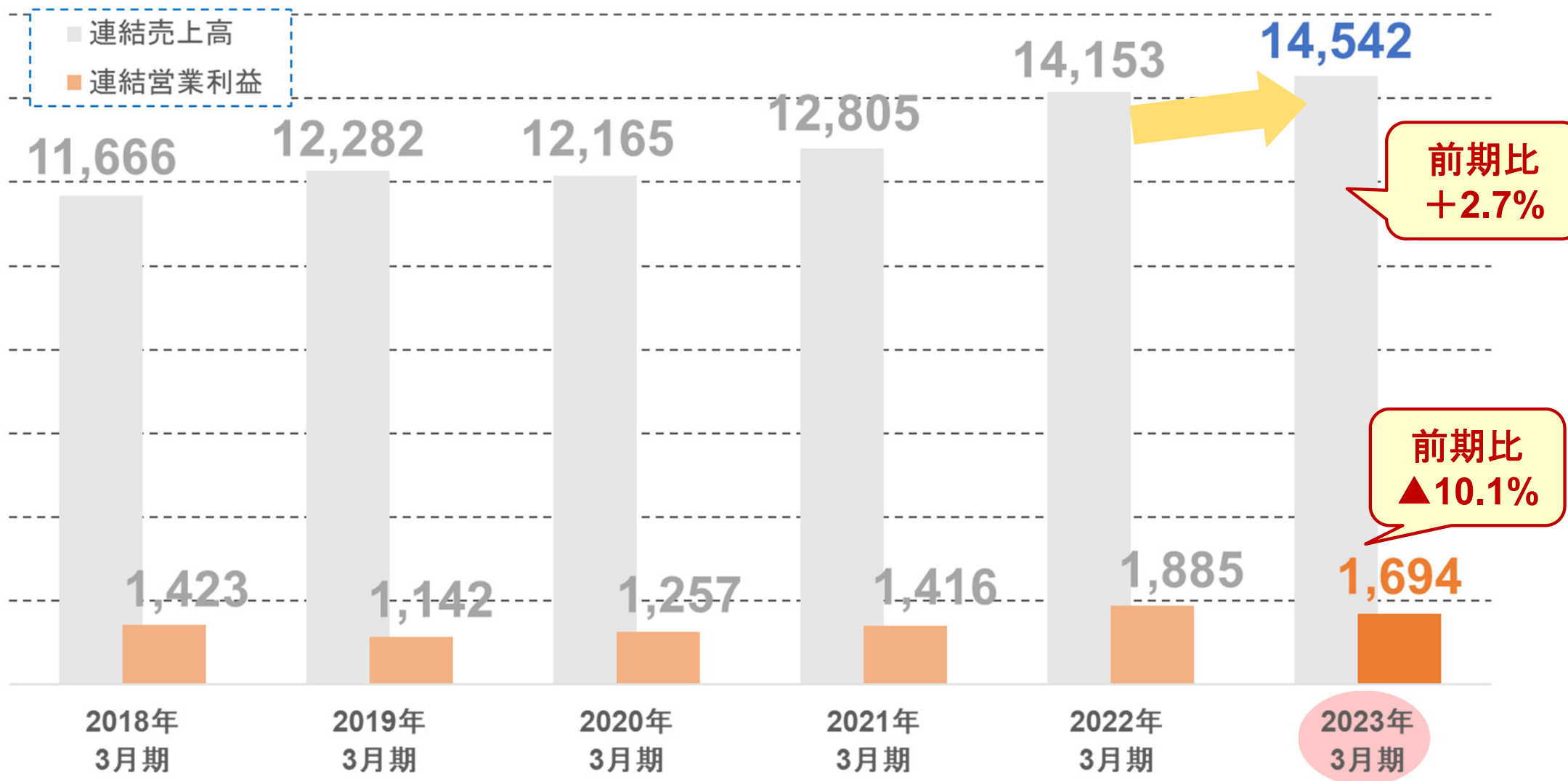
事業セグメント概要(1)

事業セグメント	サブセグメント	
① ファインケミカル 自動車用・家庭用ケミカル用品の製造販売	一般消費者用製品(自動車向け)	} 祖業
	業務用製品(自動車向け、その他産業向け)	
	家庭用品等製品	} 横展開による 事業領域拡大
	海外事業	
	タイヤ空気圧監視装置 企画・開発・販売	
	電子機器・ソフトウェア開発	
② ポーラスマテリアル 機能性精密多孔質体製品の製造販売	産業資材 (ハイテク産業向け精密洗浄・研磨・濾過用途製品) (医療・衛生用途製品)	} M&Aによる 事業領域拡大
	生活資材 (自動車、キッチン、化粧品、スポーツ等用品)	
③ サービス	自動車整備・钣金	} 保有資産の 収益化
	自動車教習	
	生活用品等企画販売	
④ 不動産関連	不動産賃貸	}
	温泉施設運営・介護予防支援	

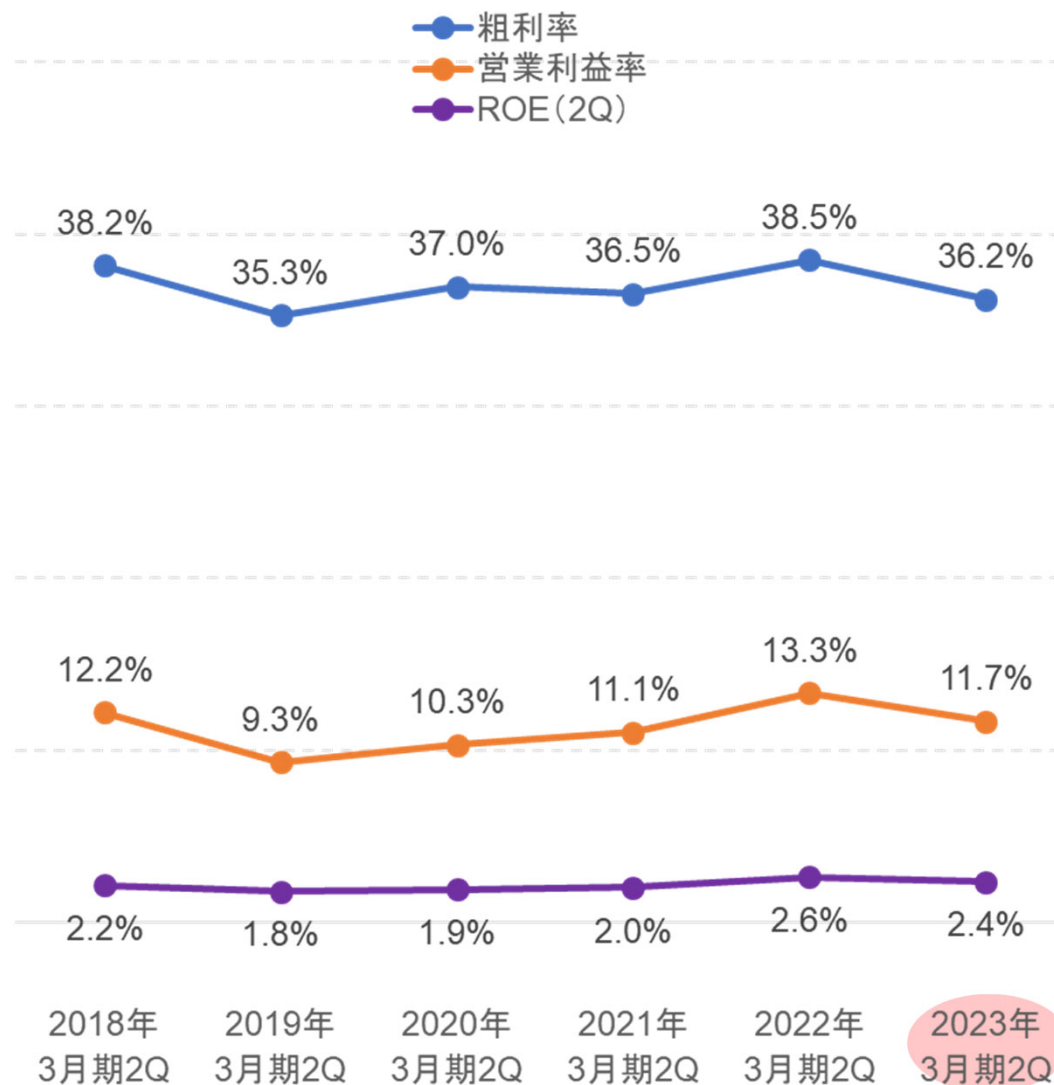
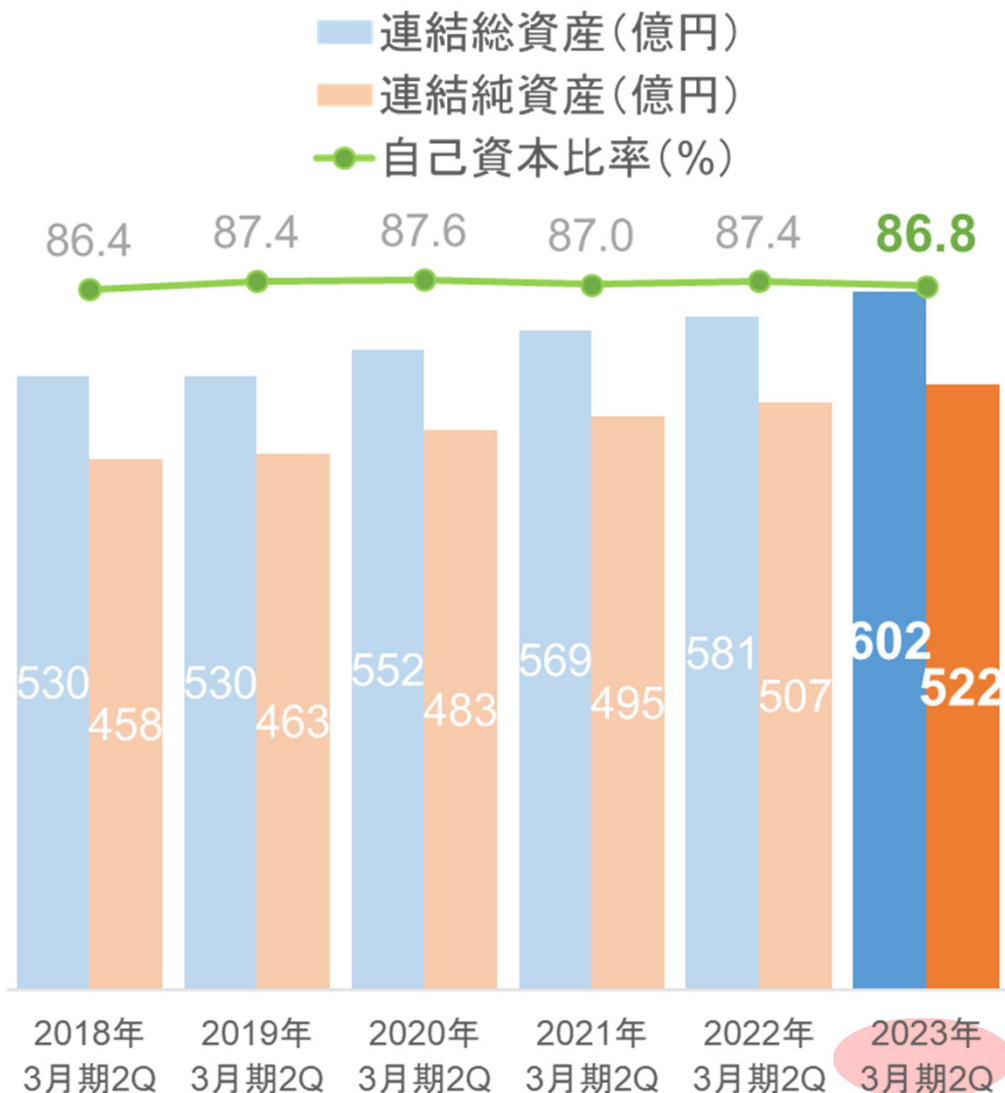
II : 連結業績概要

連結損益の概要

第2四半期累計期間の連結損益推移 (単位:百万円)



主要經營指標



Ⅲ：事業の概況

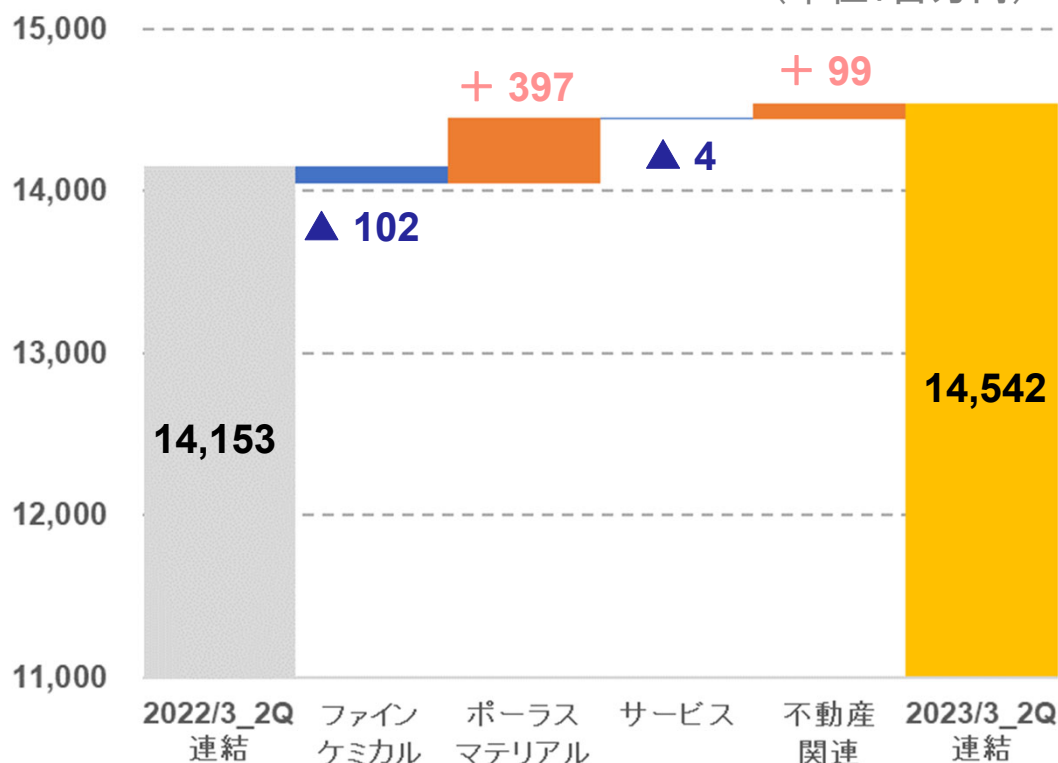
（2023年3月期）

セグメント別 損益増減(前期比)

- ファインケミカル・・・巣ごもり消費需要の落ち着き、原価高騰の影響から、減収減益。
- ポーラスマテリアル・・・原価高騰の影響はあるものの、販売好調により増収増益。

セグメント別売上高・前期比増減

(単位:百万円)



セグメント別利益・前期比増減

(単位:百万円)

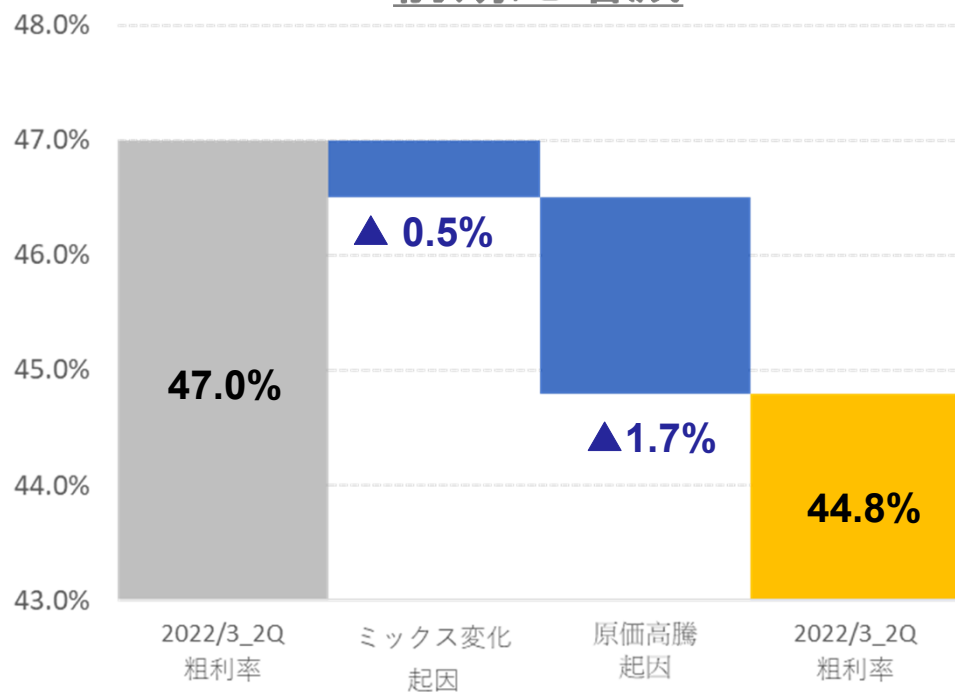


(注)連結調整額除く

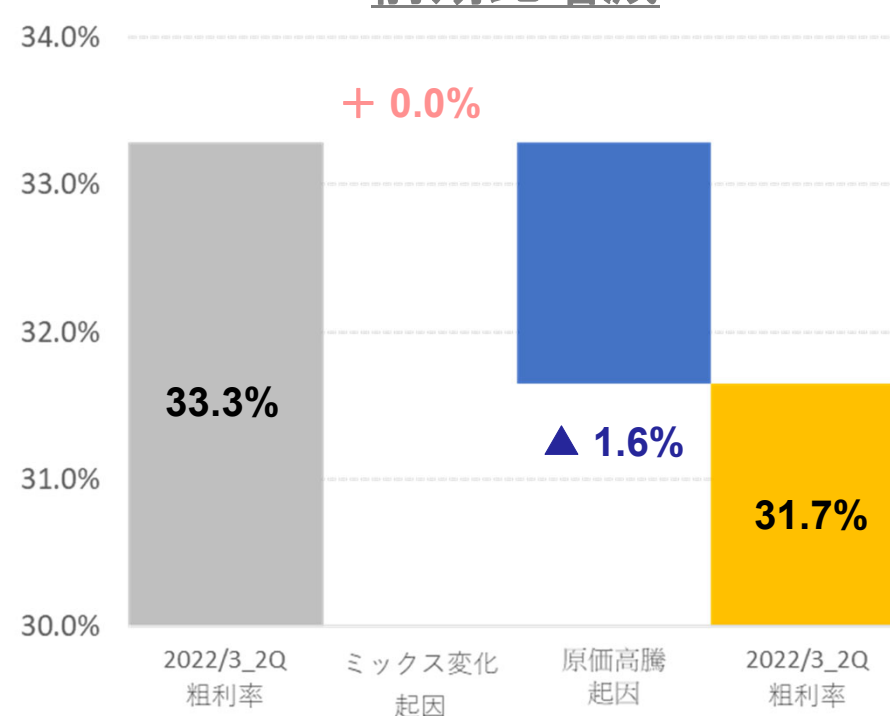
粗利率 変動要因(前期比)

- ファインケミカル(ソフト99) … 海外販売の伸長、原価高騰の影響により悪化。
- ポーラスマテリアル(アイオン) … 販売ミックスの変化による影響は微細。一方、原材料や光熱費高騰の影響が顕著に現れている。

ソフト99製品販売 粗利率
前期比増減



アイオン 粗利率
前期比増減



(注)連結調整前にて計算

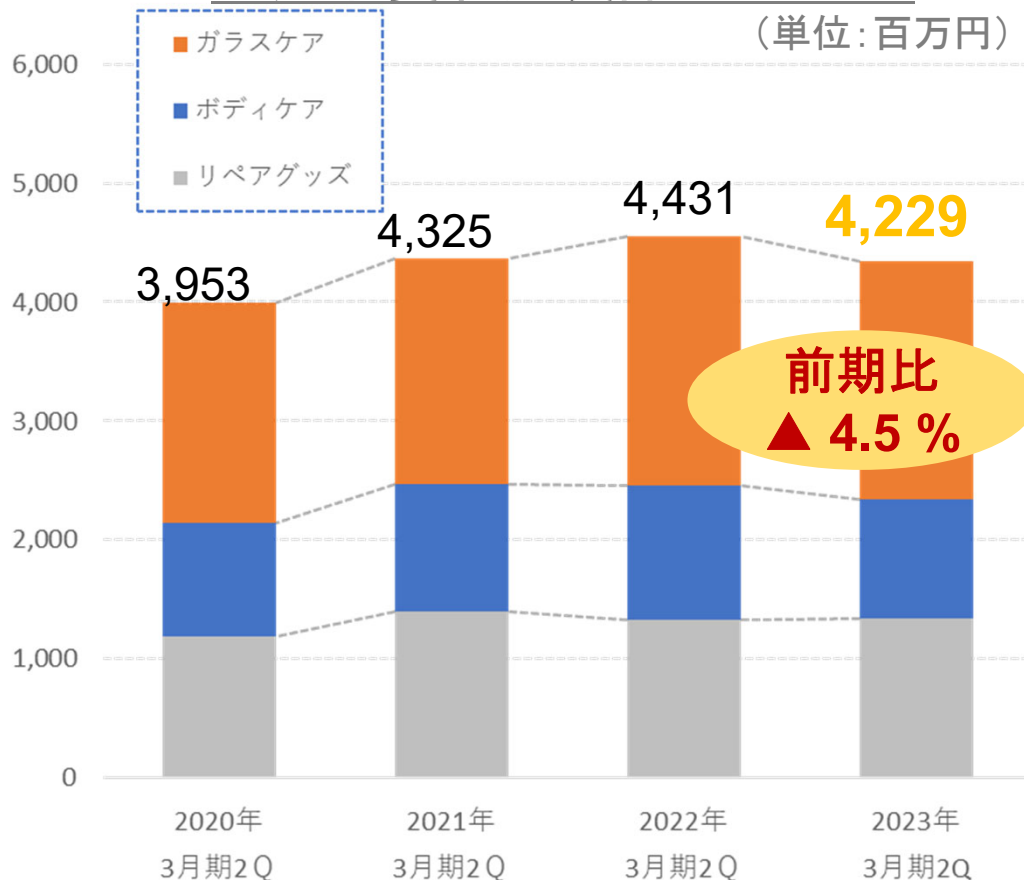
ファインケミカル(1/4) 一般消費者用製品販売



■ コロナ禍の「巣ごもり消費需要」終結後も、堅調な売上を維持。

一般消費者用製品 2Q売上

(単位:百万円)



- コロナ禍当初は、「巣ごもり消費需要」が旺盛で、売上高が好調に推移。
- 直近は、巣ごもり傾向も解消されたことや、消費者の意識の変動などもあり、製品販売量が減少。
- 一方、リペアにおいては、新規売場の獲得が進むなど、特需に左右されない市場の醸成も進む。

第6次中計立案時の想定から、市場環境が大きく変化。

一般消費者用製品中心の販売から、サービス提案の推進を計画していたものの、コロナ禍により課題を残す。



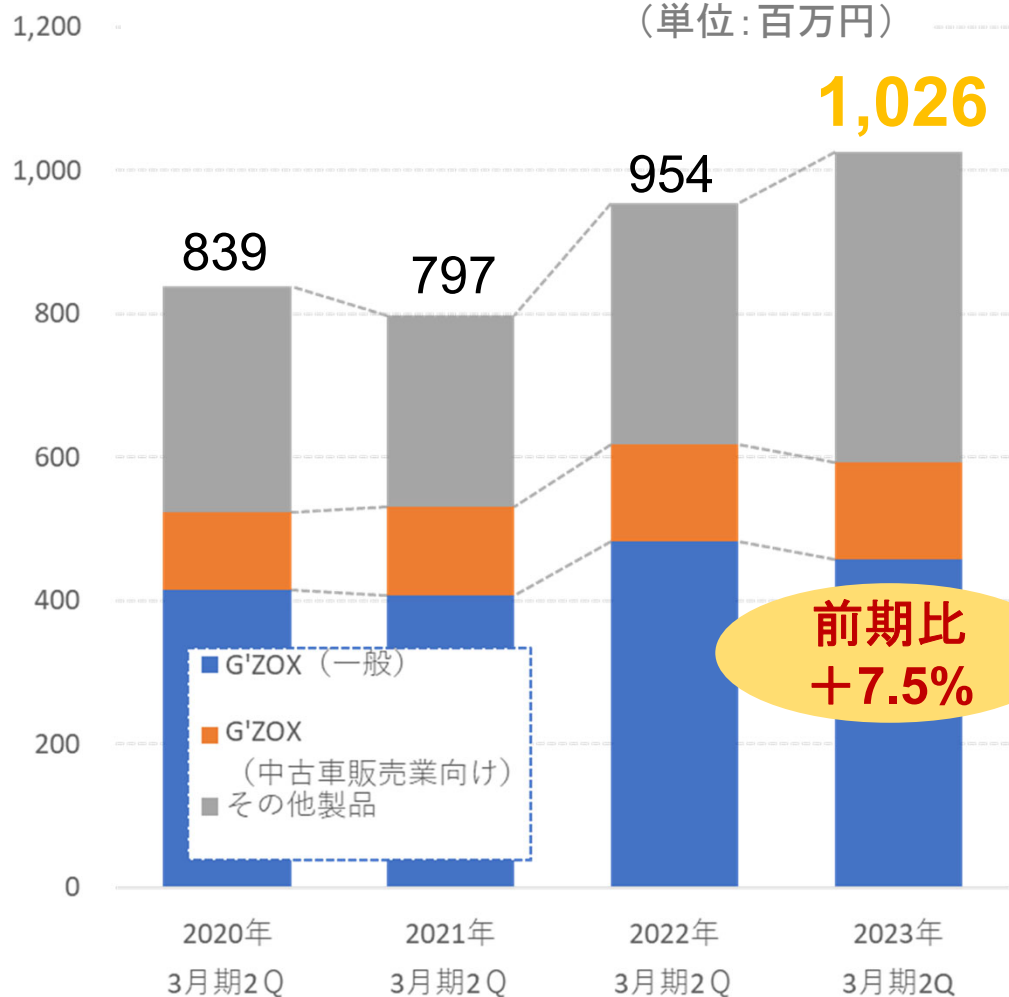
ファインケミカル(2/4) 業務用製品



■ 自動車の販売台数が停滞する中、コーティングの販売は好調に推移。

業務用製品 2Q売上

(単位:百万円)



- 新車の供給量減少に伴い、新車向けの施工は苦戦。
- 得意先との取り組みを強化し、販売車両に占めるコーティング施工割合を高めることで、販売量を維持。
- 今期は、価格改定前の駆け込み需要が発生。



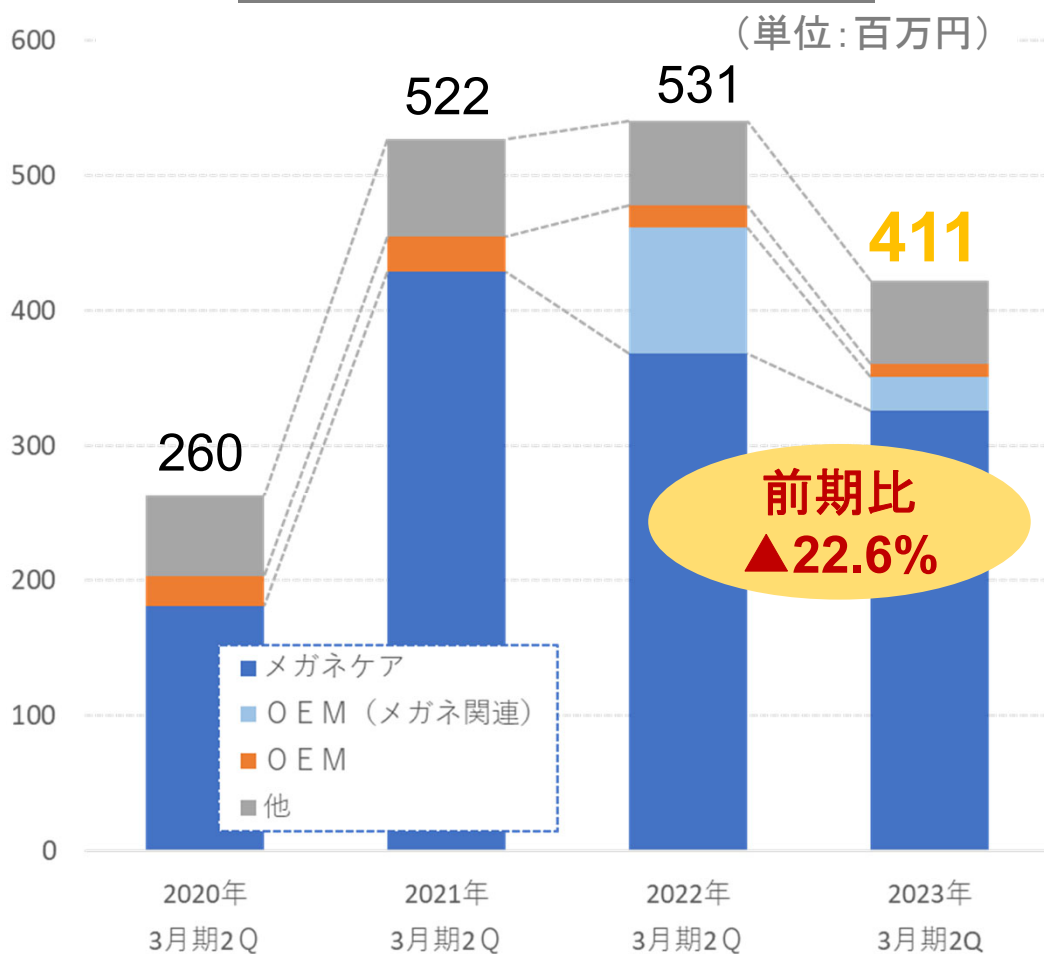
ニーズの多いボディ用に加え、車内用コーティング施工の普及を進めることで、新たな市場を創造する。

ファインケミカル(3/4) 家庭用品等製品



- コロナ禍突入により、従来よりも市場が拡大し、製品知名度が向上。

家庭用品等製品 2Q売上



- コロナ禍への突入により、メガネケア製品の市場が拡大。
- コロナ禍が落ち着いている現在も、製品ニーズのベースラインは上がっており、売上規模は3年前の水準を超える。

コロナ禍で拡大したトイレタリー分野での売上を確保しつつ、スポーツ分野への進出を進める。

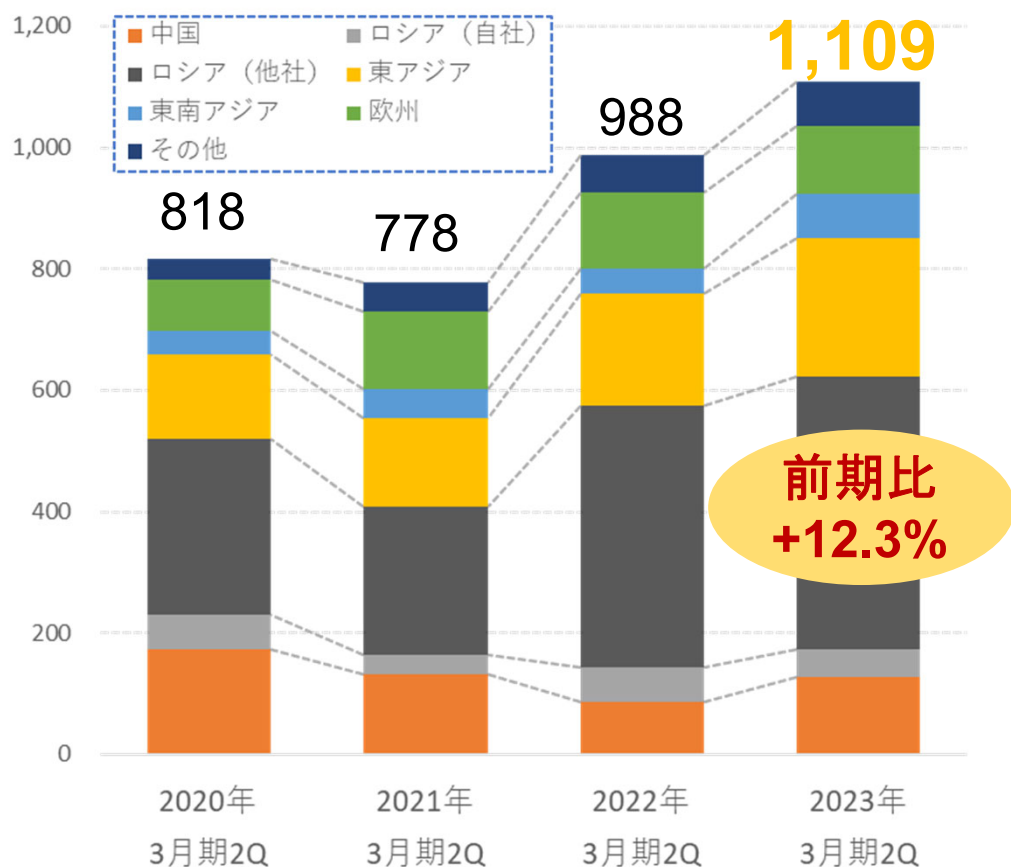


ファインケミカル(4/4) 海外販売

- コロナ禍当初は、各国ロックダウンの影響もあり、苦戦していたが、徐々にその影響も薄れ、売上が順調に伸長。

海外販売 2Q売上

(単位:百万円)



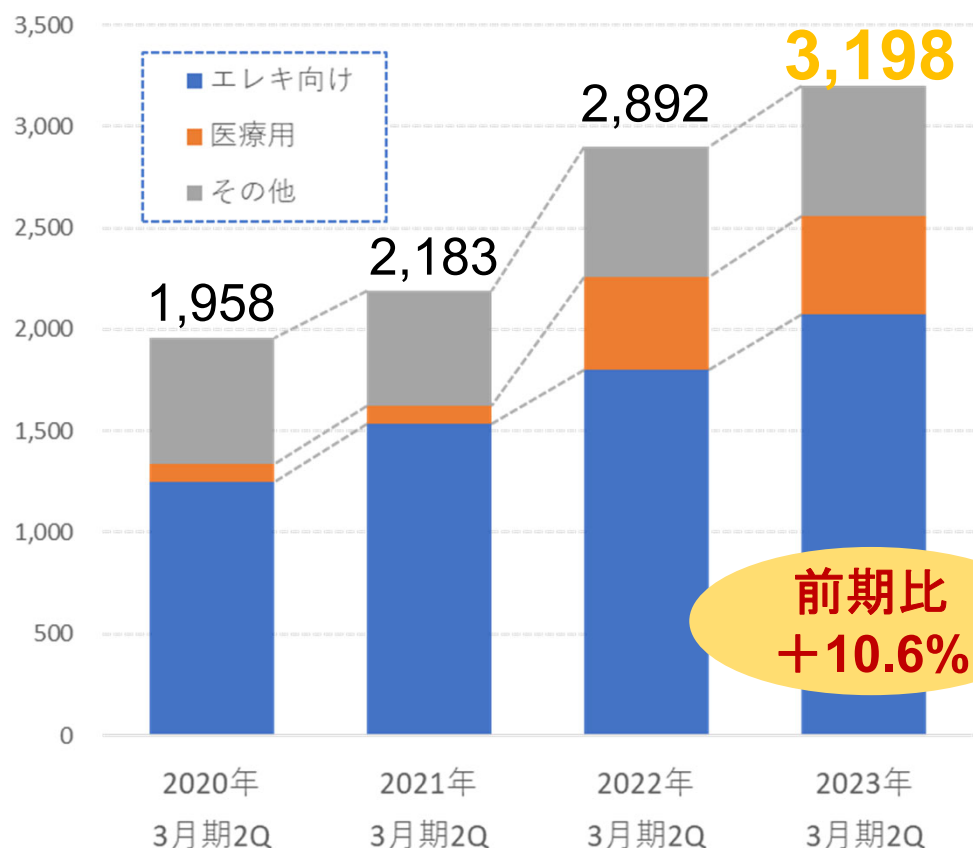
- 東アジアでは、SNSを活用した広告戦略を取り入れたことや、量販店向け企画を強化したことで、好調に推移。
- 東南アジアでは、EC販売を強化したことにより、伸長。
- その他、現地語版製品の販売拡大など、地域に根差した販売戦略を展開。
- ウクライナ侵攻開始以降、対ロシア販売に占める当社製品の割合は減少。



K-リーチ対応製品

■ 半導体関連市場の活況・HDDの高容量化により需要増。

産業資材 2Q売上 (単位:百万円)



- コロナ禍において、主力の半導体市場は好調に推移。
- M&Aによる医療・衛生用品向け販売の増加も全体の売上UPに貢献。

新工場の本稼働を開始すると共に、研究開発を進めることで、医療用途を売上の第三の柱として確立させる。



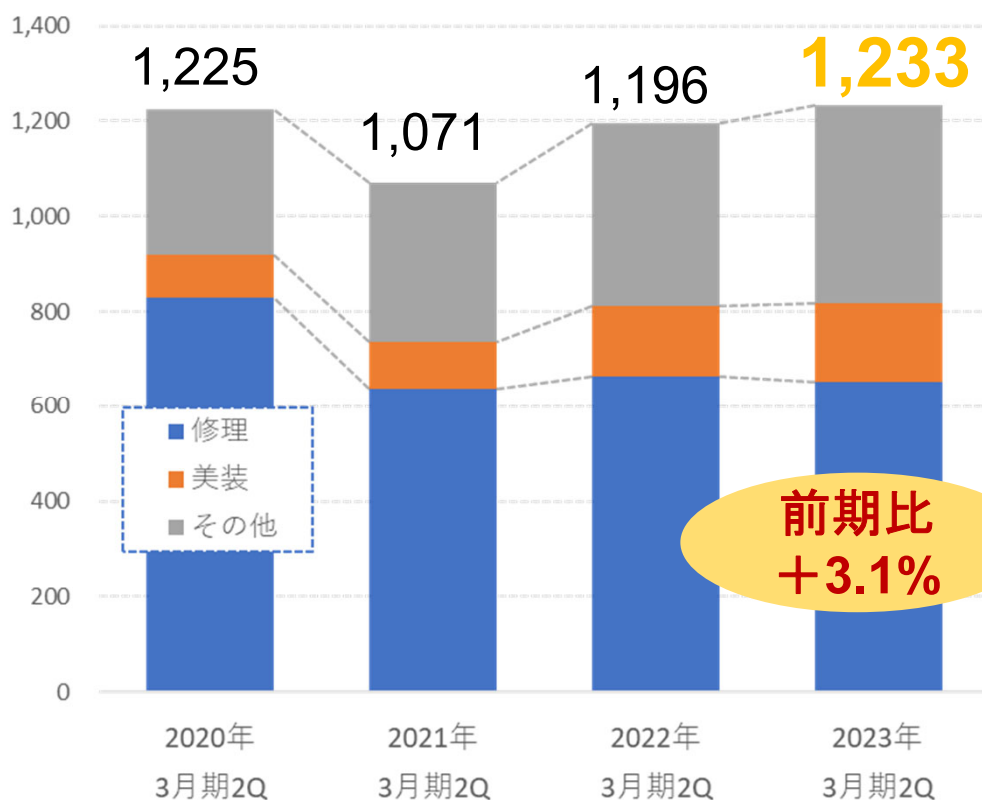
※アズテック株式会社を2021年よりグループ化

サービス 自動車板金整備事業

- コロナ禍以前の水準には戻り切っていないものの、美装に注力したこともあり、売上高は改善している。

自動車板金整備事業 2Q売上

(単位:百万円)



- コロナ禍の入庫台数の減少に加え、部品供給体制が不安定になったことで、修理期間が長期化。効率的な修理が難しくなった。
- 一方、美装のためのコーティングや、フィルム・EC販売に注力することで、全体の売上は回復傾向にある。

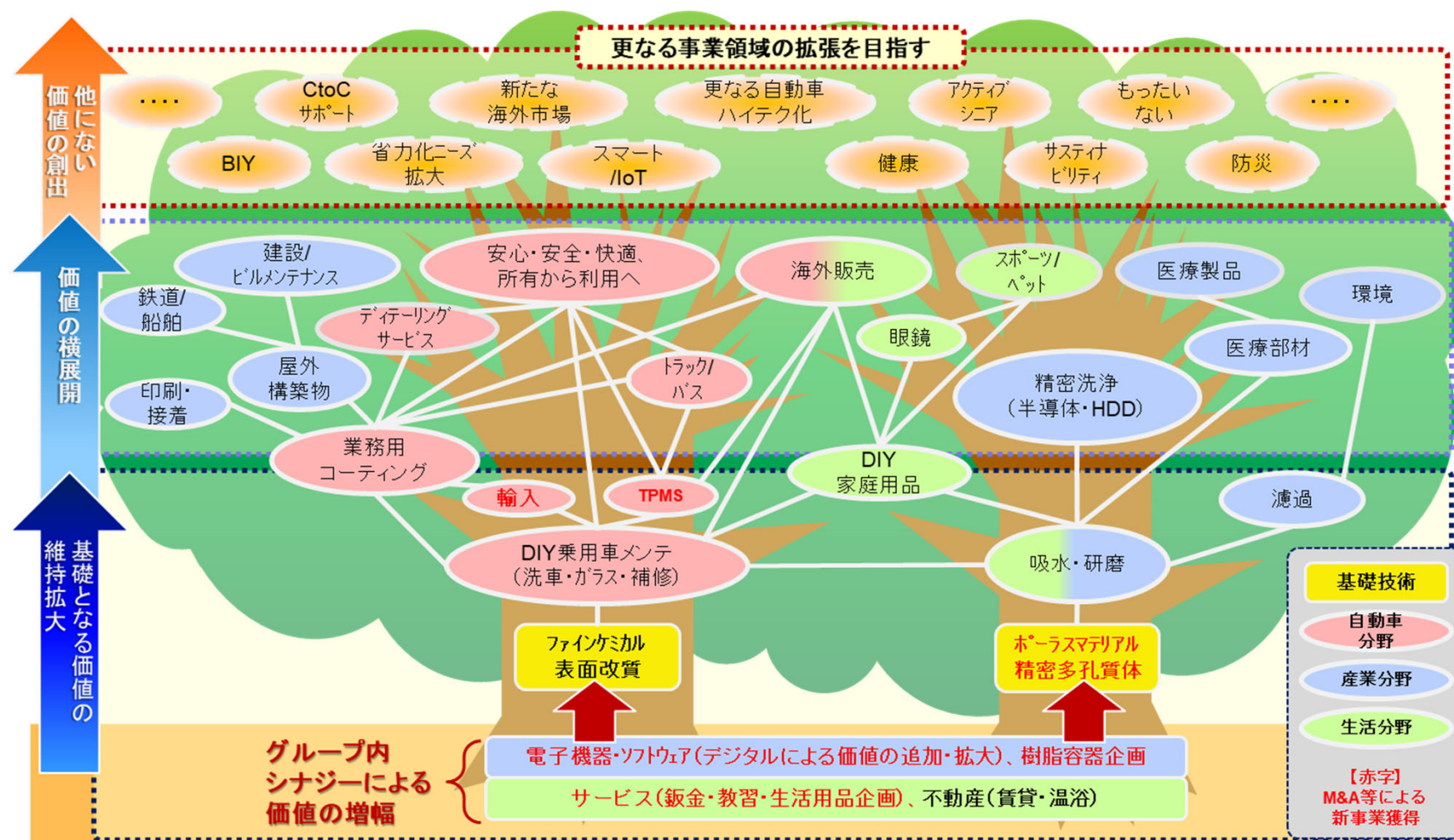


美装の販売強化や、営業体制の見直しにより、競争力の強化を進める。

IV：中期経営計画に基づいた当社の取り組み

第6次中期経営計画の概要 (2020年5月開示資料より引用)

- “他にない”新しい価値の創出に向け、当社グループ 既存技術ノウハウの横展開の更なる推進と、新たな技術ノウハウの取り込み・技術ノウハウ同士の掛け合わせによる事業領域の拡張を目指す。



本中計期間での取組み: ファインケミカル

■ 既存販路を活用したサービスの販売を展開。



- 「既販車メンテナンスサービスの構築」を主要目標として定めていたが、コロナ禍への突入により、その推進速度が鈍化。
- 一部企業において、業務用製品の施工機会創出のための設備を導入。

**現在:
購入時の施工中心**



5年後...

**今後:
既販車への施工推進**



既販車メンテナンスメニューの開発の推進することで、再施工市場の活性化を目指し、取組みを進めていきます。

本中計期間での取組み:ポラスマテリアル



- 医療用途製品の製造環境確立・生産環境の改善のために、新工場を設立。

2022年7月
茨城県古河市に
設立



一般医療機器(クラスI・II)製品の製造販売業許可を取得。製品開発を進める。



アメディフ アブソーピングブロック



アメディフ 口腔ケアキット

機械装置の効率改善を進めることで、新製品開発力・生産力の増強を見込む。



本中計期間での取組み: サービス

- 尼崎ドライブスクール教習生の無料送迎を路線バスで代替。
JCOMMマネジメント賞を受賞。



- 2021年より、尼崎ドライブスクールでは、教習生の無料送迎車のルートの一部を路線バス(阪神バス)へと代替する取組みを実施しております。
- 三方良しの施策を評価され、2022年にJCOMMマネジメント賞を受賞しました。

他企業とも連携を図りながら、地域社会への貢献を進めていきます。

本中計期間での取組み: 不動産事業

■ 新たなサービスの提供方法として、IoTを活用したビジネスを始動。



- 温浴事業では、コロナ禍で来場者数が減少する中、フードデリバリーサービス（UberEats・出前館）を開始。
- 遊休地を活用するため、ソフト99営業所内のスペースを活用し、アプリで管理できるトランクルームサービスを開始。

every-two

everytime everywhere everyone

IoT × トランクルーム

STEP 1

会員登録



STEP 2

レンタル契約



STEP 3

荷物を預ける



STEP 4

荷物を取り出す



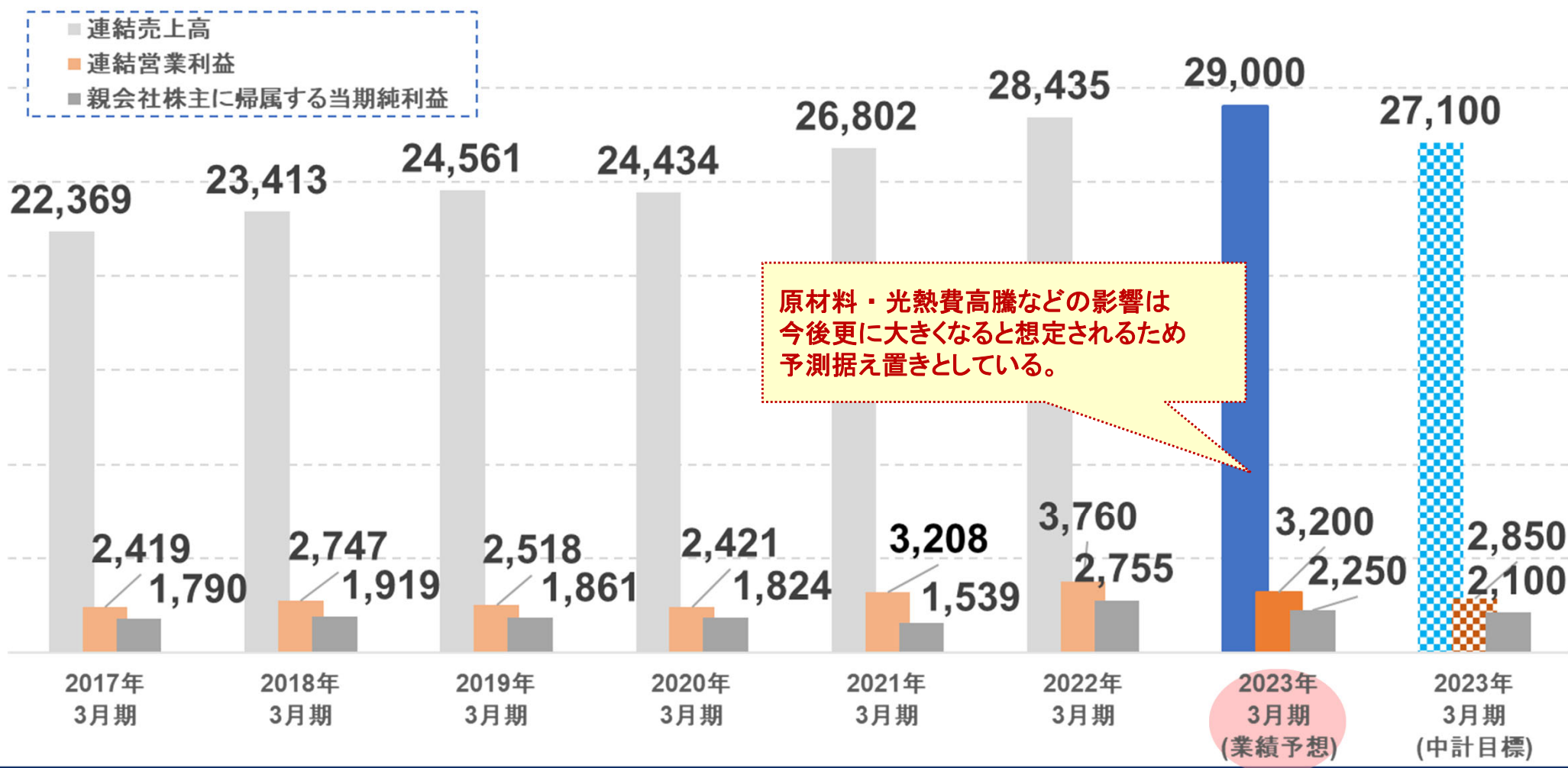
所有する資源を有効活用できる新規事業の開発を促進し、体力のある組織運営を目指していきます。

V : 通期業績予想と配当予想

2023年3月期 通期業績予想

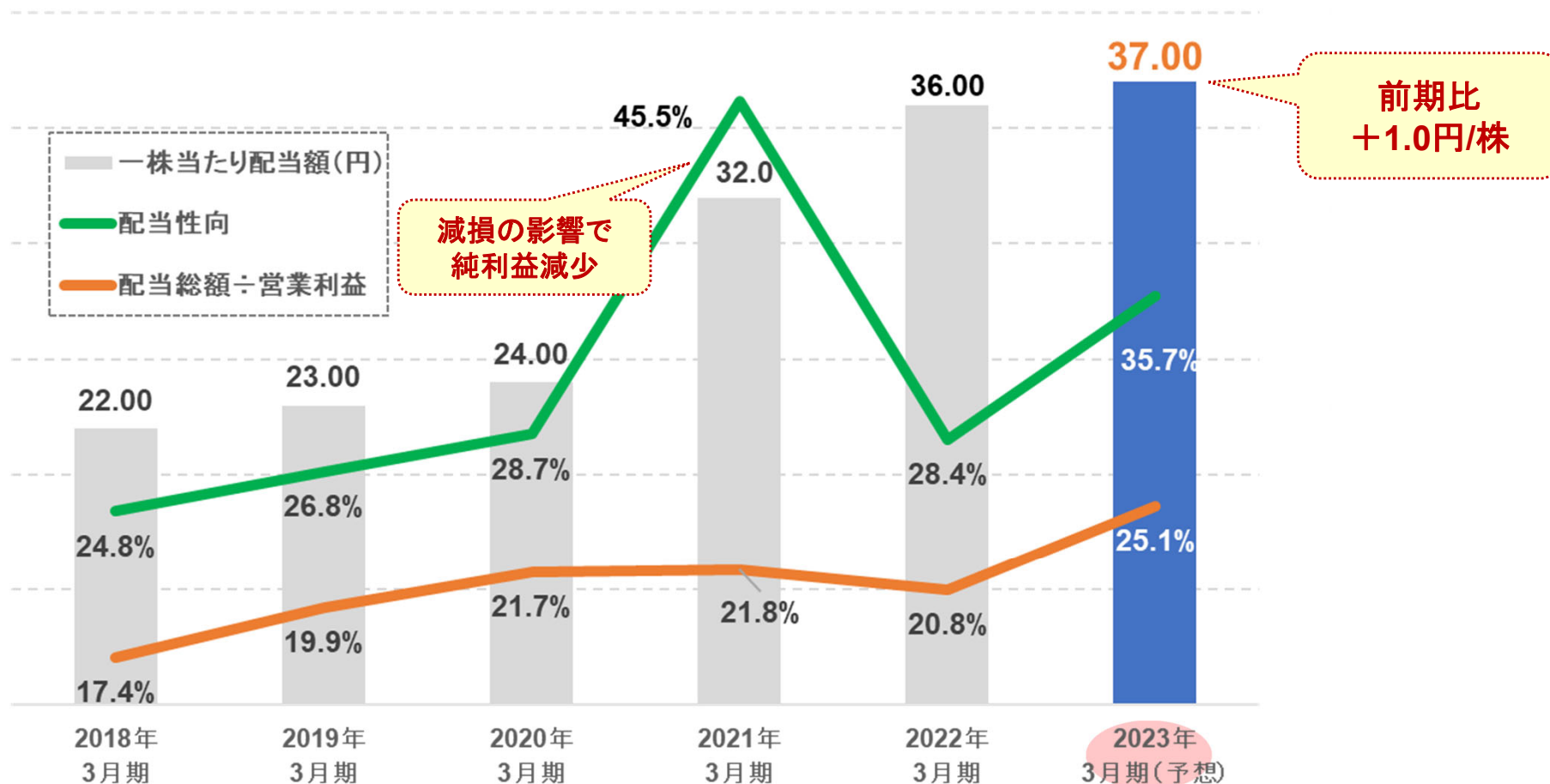
- 第6次中期経営計画の積残した課題に取り組みつつ、第7次中期経営計画の足場固めを進めていく。

(単位:百万円)



2023年3月期 通期配当予想

- 2023年3月期配当は、中間・期末共に18.5円/株、通期で37.0円/株(前期比+1.0円/株)となる予定。
- 2022年12月12日に従業員持株会支援信託ESOPへの株式割当を予定。



Appendix : 計数資料

要約連結貸借対照表(対前期末比較)



(単位:百万円)

	2022年 3月末	2022年 9月末	増減額		2022年 3月末	2022年 9月末	増減額
流動資産	29,330	29,582	+ 251	流動負債	4,643	4,872	+ 229
現金及び預金	20,197	19,768	▲ 429	仕入債務	1,390	1,613	+ 222
売上債権	4,562	4,767	+ 205	未払法人税等	658	549	▲ 108
有価証券	300	0	▲ 300	未払金・未払費用	1,175	1,172	▲ 3
棚卸資産	3,988	4,415	+ 426	その他	1,418	1,537	+ 118
その他	283	631	+ 348	固定負債	3,196	3,096	▲ 99
固定資産	29,900	30,628	+ 728	負債合計	7,839	7,969	+ 130
有形固定資産	22,049	22,606	+ 556	純資産	51,391	52,241	+ 849
無形固定資産	639	615	▲ 23	株主資本	51,176	52,022	+ 846
投資その他の資産	7,210	7,406	+ 195	その他包括利益累計額	215	218	+ 3
資産	59,231	60,211	+ 980	負債及び純資産	59,231	60,211	+ 980

連結業績(損益:対前期比較)



(単位:百万円)

	2022年3月期 第2四半期累計	2023年3月期 第2四半期累計	対前年比 増減額	対前年比 増減率
売上高	14,153	14,542	+ 389	+2.7%
売上総利益	5,451	5,267	▲ 184	▲3.4%
売上総利益率	38.5%	36.2%	▲ 2.3pt	—
販売費及び一般管理費	3,565	3,572	+ 6	+0.2%
営業利益	1,885	1,694	▲ 191	▲10.1%
営業利益率	13.3%	11.7%	▲ 1.7pt	—
経常利益	1,986	1,784	▲ 202	▲10.2%
税金等調整前当期純利益	1,986	1,777	▲ 208	▲10.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,332	1,237	▲ 95	▲7.2%

要約連結キャッシュフロー(対前期比較)



(単位:百万円)

	2022年3月期 第2四半期累計	2023年3月期 第2四半期累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	+ 999	+ 900
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 707	▲ 915
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 522	▲ 414
現金及び現金同等物に係る換算差額	+ 1	+ 3
現金及び現金同等物の増加額(▲減少額)	▲ 228	▲ 425
現金及び現金同等物の期首残高	18,649	19,885
現金及び現金同等物の期末残高	18,421	19,459

減価償却費	364	373
設備投資額(※)	782	860

(※)有形固定資産の取得による支出

連結経営指標ハイライト(対前年比較)



	2022年3月期 第2四半期累計	2023年3月期 第2四半期累計	増減
総資産(百万円)	58,137	60,211	+ 2,073
純資産(百万円)	50,789	52,241	+ 1,451
自己資本比率	87.4%	86.8%	▲ 0.6pt
ROA(経常利益÷総資産)	3.4%	3.0%	▲ 0.5pt
ROE(純利益÷純資産)	2.6%	2.4%	▲ 0.3pt
総資産回転率(売上高÷総資産)	0.24	0.24	▲ 0.00
1株当たり純利益(円)	61.05	57.03	▲ 4.02

ファインケミカル(損益:対前期比較)



(単位:百万円)	2022年3月期 第2四半期累計	2023年3月期 第2四半期累計	対前期比 増減額	対前期比 増減率
売上高	7,215	7,112	▲ 102	▲ 1.4%
一般用製品:ボディケア	1,104	980	▲ 123	▲ 11.2%
一般用製品:ガラスケア	2,019	1,947	▲ 72	▲ 3.6%
一般用製品:リペアグッズ	1,307	1,301	▲ 6	▲ 0.5%
業務用製品	954	1,026	+ 71	+ 7.5%
家庭用品等	531	411	▲ 120	▲ 22.6%
海外事業	988	1,109	+ 121	+ 12.3%
TPMS(タイヤ空気圧監視装置)	114	68	▲ 46	▲ 40.5%
電子機器・ソフトウェア開発	231	314	+ 82	+ 35.7%
その他・調整	▲36	▲46	▲ 10	—
売上総利益	3,373	3,150	▲ 222	▲ 6.6%
粗利益率	46.7%	44.3%	▲ 2.5pt	—
営業利益	1,154	952	▲ 202	▲ 17.5%
営業利益率	16.0%	13.4%	▲ 2.6pt	—

ポーラスマテリアル(損益:対前期比較)



(単位:百万円)		2022年3月期 第2四半期累計	2023年3月期 第2四半期累計	対前期比 増減額	対前期比 増減率
売上高		3,640	4,038	+ 397	+ 10.9%
	産業資材	2,892	3,198	+ 305	+ 10.6%
	国内	1,442	1,416	▲ 25	▲ 1.8%
	海外	1,449	1,781	+ 331	+ 22.9%
	生活資材	748	840	+ 91	+ 12.3%
	国内	419	476	+ 56	+ 13.4%
	海外	328	364	+ 35	+ 10.8%
売上総利益		1,282	1,340	+ 58	+ 4.6%
	粗利益率	35.2%	33.2%	▲ 2.0pt	—
営業利益		530	538	+ 8	+ 1.6%
	営業利益率	14.6%	13.3%	▲ 1.2pt	—

サービス(損益:対前期比較)



(単位:百万円)	2022年3月期 第2四半期累計	2023年3月期 第2四半期累計	対前期比 増減額	対前期比 増減率
売上高	2,712	2,707	▲ 4	▲ 0.2%
自動車整備・钣金事業	1,196	1,233	+ 36	+ 3.1%
自動車教習所	510	495	▲ 15	▲ 3.0%
生活用品企画販売	1,004	978	▲ 26	▲ 2.6%
売上総利益	671	645	▲ 26	▲ 3.9%
粗利益率	24.8%	23.8%	▲ 0.9pt	—
営業利益	97	87	▲ 9	▲ 10.1%
営業利益率	3.6%	3.2%	▲ 0.4pt	—

不動産関連(損益:対前期比較)

(単位:百万円)	2022年3月期 第2四半期累計	2023年3月期 第2四半期累計	対前期比 増減額	対前期比 増減率
売上高	584	684	+ 99	+ 17.0%
不動産賃貸	216	195	▲ 20	▲ 9.5%
温浴事業	346	470	+ 124	+ 35.8%
介護予防支援事業	22	17	▲ 4	▲ 19.4%
売上総利益	124	130	+ 6	+ 5.3%
粗利益率	21.2%	19.1%	▲ 2.1pt	—
営業利益	101	112	+ 11	+ 11.2%
営業利益率	17.3%	16.4%	▲ 0.9pt	—

セグメント情報(セグメント別売上高・営業利益比較)



(単位:百万円)

売上高	2022年3月期 第2四半期累計	全体構成比率	2023年3月期 第2四半期累計	全体構成比率	対前期構成比増減
ファインケミカル	7,215	51.0%	7,112	48.9%	▲ 2.1pt
ポーラスマテリアル	3,640	25.7%	4,038	27.8%	+ 2.0pt
サービス・不動産関連	3,297	23.3%	3,391	23.3%	+ 0.0pt
合計	14,153	100.0%	14,542	100.0%	—

営業利益	2022年3月期 第2四半期累計	全体構成比率	2023年3月期 第2四半期累計	全体構成比率	対前期構成比増減
ファインケミカル	1,154	61.3%	952	56.3%	▲ 5.0pt
ポーラスマテリアル	530	28.1%	538	31.8%	+ 3.7pt
サービス・不動産関連	198	10.5%	199	11.8%	+ 1.3pt
(※)合計	1,883	100.0%	1,690	100.0%	—

(※)合計には連結調整額を含む。

SEEK OUT
INNOVATION

～ 未来の“あたりまえ”を発見する～

